

医療事業戦略：中国市場

高い成長ポテンシャルを有する中国市場

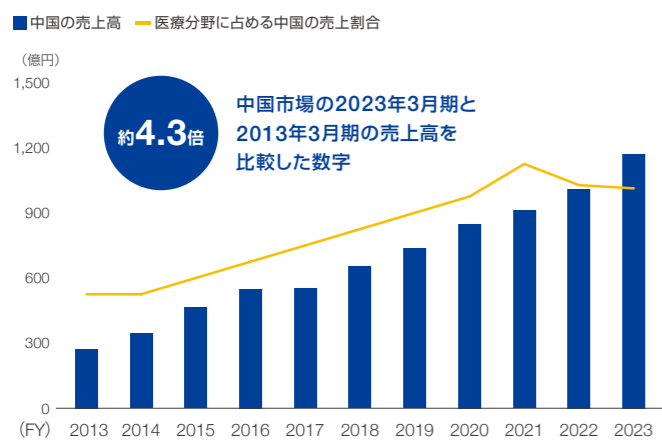
内視鏡医療のさらなる発展が見込まれる中国市場。当社の強み、市況、今後の成長ポテンシャルを解説します。

中国市場の持続的な成長機会とトータルソリューションの提供

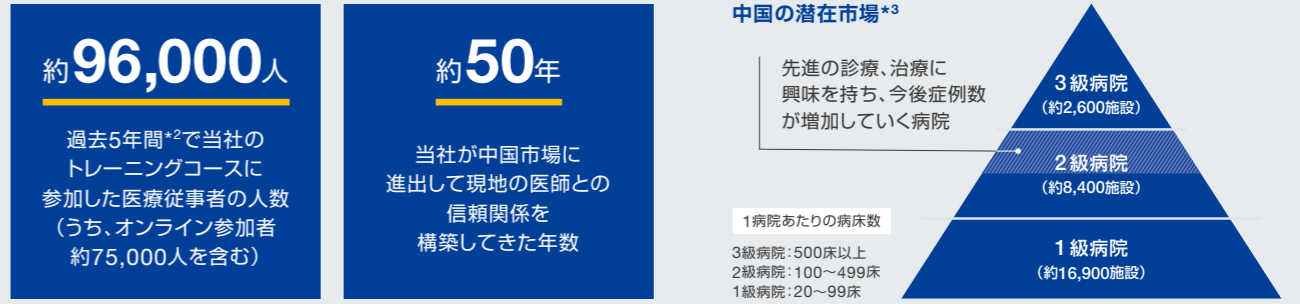
オリンパスは約50年前に中国市場へ参入してから、他社に先駆けて事業基盤を強化してきました。医師や病院・学会との積極的な連携によって、内視鏡医療の普及に努め、医療従事者との信頼関係を構築してまいりました。また、並行してサービス拠点におけるアフターサービスの体制やトレーニング支援の強化を図ることで、医師が安心して内視鏡検査・治療を行えるようサポートしてきました。そのような強固な基盤のもと、当社の中国における事業は大きな成長を遂げてきました。新型コロナウイルスの感染拡大などによる短期的な変動はあったものの、長期的な成長ポテンシャルは高く、今後も当社の中で戦略的に重要な市場としての位置づけは変わりません。特に、①臨床医の教育プログラムやトレーニングへの投資、②中国の医療従事者のアンメットニーズの探索、③現地での製造戦略、の3つの施策を柱として積極的な投資を継続し、事業の成長を図ります。現在、当社は上海・北京・広州の3カ所の自社トレーニングセンターに加え、全国およそ20施設の病院と提携している協業ト

レーニングセンターを拠点として*1、中国全土にわたり内視鏡医の育成を支援しています。直近では、オンラインとリアルハイブリッド型のトレーニングプログラムや、製品の使用方法や手技を解説したオンラインの動画教材、スマートフォンを活用した症例診断の学習支援など、サービスの提供を拡充しており、医療従事者からは高い評価を得ています。現地の医療従事者や市場の声を分析することで、将来の当社製品・サービスの開発につなげる活動も行っています。製品の販売だけでなく、当社独自の知見から内視鏡室における利便性向上に関わるさまざまな提案を行うなど、医療従事者との接点を増やし、関係をさらに強化しています。また、中国市場に向けて「メイド・イン・チャイナ」の製品を提供できるよう、中国・蘇州に製造拠点を設立して、準備を進めているところ。その他、全7拠点のサービスセンターにおいて、内視鏡製品の点検やメンテナンスに対応しており、業界トップクラスの体制を構築しています。今後も付加価値の高い差別化された製品の投入だけでなく、サービスやトレーニング活動を含めたトータルソリューションを提案していくことで、事業成長を実現してまいります。*1 2023年9月現在

医療分野における中国の売上成長推移



中国のサービスセンター・トレーニングセンター・製造拠点



*2 2019年3月期~2023年3月期

*3 2023年3月末時点

中国市場のPEST分析

P Politics 政策

- **「中国製造2025」を発表(2015年)**: 現状の組み立て中心の製造国家から研究開発を含めた真の製造大国になることを目指すことが発表されました。2049年にグローバルのトップ製造国家の仲間入りをすることが目標です。ターゲット分野は10あり、その一つにバイオ技術、医療機器分野が含まれています。
- **「健康中国2030」を発表(2016年)**: 中国国民の健康を推進させ健全な国家を建設する方針を打ち出し、重点項目の一つとして「がんを含む慢性疾患の早期診断・早期治療」や医療サービスの地域間格差の是正、医療機関の拡充などが掲げられています。またそれを支える医療産業の技術革新、発展を目指しています。
- **「県級病院総合能力レベルアップ計画」を発表(2019年)**: 500の県級病院と500の中医病院を3級病院または3級中医病院と同等の医療水準に引き上げることを目指す方針が掲げられています。
- **購入量ベース調達制度(VBP: Volume Based Procurement)**: 高額消耗品の医療コスト削減を当初の目的として省、市などの地域ごとに開始された一種の集中購買の調達プログラム。

(注)こちらでは中国政府による政策をご紹介しています

E Economy 経済

- **中国医療市場の見通し**: 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2022年までの5年間のGDP平均成長率は約5%を維持、国家統計局の国家衛生総支出は2021年までの5年間で約11%の平均成長率となっています。2022年までのゼロコロナ政策によって医療市場もロックダウンなどの影響を受けましたが、中長期的には堅調にかつ大きく成長していく市場と考えられています。
- **中層・地方病院への投資の拡大**: 中国では、約28,000の医療施設が3級、2級、1級等に分かれており、医療水準の高い3級病院に患者さんが集中する傾向があります。また地方の病院不足も顕著でこの医療格差を解消するためにも、中層・地方病院を中心にインフラへの投資が拡大するとみられています。

S Society 社会

- **内視鏡検査・治療数の増加**: 近年、中国においては国民の健康意識の高まりから「早期診断」「低侵襲治療」への要望が大きくなっています。内視鏡医療はその二つの価値の提供に加え、医療コストの削減にも寄与するため、検査・治療件数は急速に増加しています。
- **内視鏡室の新設**: 中国政府による政策や内視鏡検査・治療数の増加に伴い病院の新規設立や増設の際に、内視鏡室の導入が積極的に行われており、内視鏡医療の発展につながっています。
- **内視鏡医の不足**: 人口10万人あたりの内視鏡医数は日本が28.2人に対して中国は2.8人*4と、依然として低い水準にあります。医療機関では、患者さんの増加に内視鏡医の数が追いついておらず、内視鏡医の育成が急務となっています。

T Technology 技術

- **消化器内視鏡**: 中国国内企業に対して優位性を維持しています。臨床ニーズに応えたNBI*5技術や拡大内視鏡によって、中国における内視鏡診断・治療の技術向上に貢献しています。また、拡大内視鏡やNBIに代表される当社の技術をベースとした診断方法が内視鏡学におけるスタンダードとなりつつあり、当社の優位性を維持しています。
- **外科内視鏡**: CMOS技術の急速な発展により、中国国内企業の技術レベルの向上もあり、当市場での競争環境は激化しつつあります。
- **消化器科処置具**: 技術や付加価値よりも、価格面に重きが置かれるローエンド製品では競争環境が厳しくなっていますが、当社が注力するESD*6等の高度な手技に対応するハイエンド製品については、当社が市場の中で強固なポジションを確立しています。

*4 出所: 一般公表データより当社にて算出

*5 Narrow Band Imaging: 狭帯域光観察

*6 Endoscopic Submucosal Dissection: 内視鏡的粘膜下層剥離術